

平成29年7月25日

報道機関各位

北九州市港湾空港局
環境局

ヒアリの確認について

平成29年7月8日（土）中国・高欄港で船積みされ、7月16日（日）に北九州港・太刀浦第1コンテナターミナル（以下「太刀浦CT」）で陸揚げ、その後、大分県中津市の運送事業者敷地内に運ばれたコンテナ内から発見されたアリについて、専門家による調査の結果、特定外来生物である「ヒアリ」と確認されましたので、お知らせします。

1 発見の経緯

- 7月8日（土） 中国・広東省高欄港から当該コンテナを積載した貨物船が出港
- 7月16日（日） 貨物船が太刀浦CTに入港し、貨物は陸揚げされヤード内に一時蔵置
- 7月20日（木） 当該コンテナ貨物は、中津市の運送事業者へ陸送
コンテナの中から、アリ20匹程度が発見されたため、同日、環境省九州地方環境事務所に連絡。（発見された全てのアリは殺虫処分済）
- 7月21日（金） 九州地方環境事務所が、アリのサンプルを入手し、専門家に確認を依頼
- 7月24日（月） 「ヒアリ」であることが判明
17時頃、九州地方環境事務所及び国土交通省九州地方整備局から、これまでの経緯を含め、本市に報告があり、防除や調査を行うことを確認

2 本市の対応について

（1）これまでの対応

- (6/20) 神戸港での発見を受けて、太刀浦CT・ひびきCTを目視点検（未発見）
北九州港関係者へ注意喚起を行なうとともに、北九州港HPへ掲載
- (6/30) 名古屋港での発見を受けて、次の寄港地太刀浦CTを目視点検（未発見）
- (7/11) 国からの要請を受け、太刀浦CT・ひびきCTへベイト剤（殺虫えさ）を設置
- (7/24) 北九州市の関係部局で「特定外来生物ヒアリに関する庁内連絡会議」開催

（2）本日7月25日（火）の緊急対応（12:00～13:00）

太刀浦CT内において、当該コンテナが蔵置されていた付近を目視点検するとともに、先日、太刀浦CT周囲のフェンス回りに設置していたベイト剤付近を再調査、ヒアリが侵入していないことを確認したうえ、ベイト剤を再設置しました。

（3）今後の対応

なお、今回のヒアリ発見を踏まえ、引き続き、北九州港関係者へ注意喚起を促すとともに、国等関係機関との連携や関係事業者との連絡体制の強化を図りながら、ヒアリ対策を進めていきたいと考えています。

3 ヒアリの繁殖等について

今回確認されたヒアリはコンテナの中から発見されたこと、コンテナを陸揚げした太刀浦CT及びその周辺からヒアリの発見情報がないことから、コンテナを積み出した中国でコンテナの内部に付着した可能性が高いと考えられ、現時点でヒアリが当地域周辺に定着し繁殖している可能性は低いと考えられます。

しかしながら、当地域周辺に侵入した可能性も否定できないため、本市としては可能な限りの対応を行います。

4 注意事項

ヒアリは強い毒を持っています。生きた個体を絶対に素手で触らないようにしてください。刺された場合、体質によってはアナフィラキシー・ショックを起こす可能性があります。

5 問い合わせ先

■発見の経緯・港湾での対応に関すること

港湾空港局港営部港営課 担当：檜山、松田

電話：093-321-5951 FAX：093-331-5501

■特定外来生物ヒアリの情報提供・収集に関すること

環境局環境監視部環境監視課 担当：中野、江藤

電話：093-582-2239 FAX：093-582-2196